

「側弯症外来」開設のお知らせ

国立病院機構宇都宮病院
整形外科

「側弯（そくわん）症」とは脊柱（せぼね）が側方へ曲がり、ねじれも加わる病気です。我が国では1979年から学校保健（安全）法により学校検診での側弯検診が義務化され、脊柱側弯症の早期発見・治療に寄与してきました。一方、2000年からの「運動器の10年」世界運動を受け、2016年度からは学校検診で脊柱・胸郭の検診のみならず四肢の状態を把握する運動器検診が始まりました。こうした背景の下で、当院では2016年（平成28年）4月から「側弯症外来」を開設しました。

これまで私共は、宇都宮市にて教育委員会や市臨床整形外科医会のご協力のもと、学校検診で異常を指摘された児童が2次医療機関として地域の整形外科診療所・クリニックを受診するシステムを構築してきました。2次医療機関を受診した際に更なる治療（装具（図1,2）、手術）を必要とする患者さんは、栃木県の第3次医療機関である当院へ受診して頂くこととなります。宇都宮市以外で異常を指摘された子供たちも随時受け付けております。脊柱・側弯疾患の専門医が診察させて頂き、子供さんの健やかな成長の手助けになればと考えております。

—記—

日時：毎月第4木曜日 9時~13時（完全予約制）

場所：整形外科外来

担当医師：茶藪 昌明（整形外科部長）

（日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会指導医等）

日本側弯症学会のホームページもご参照ください。

<http://www.sokuwan.jp/doctors.html>

(症例) 13 歳、女児 特発性脊柱側弯症

図 1 : 胸椎カーブ 40 度 (装具装着前)

図 2 : 胸椎カーブ 17 度 (装具装着後)

図 1

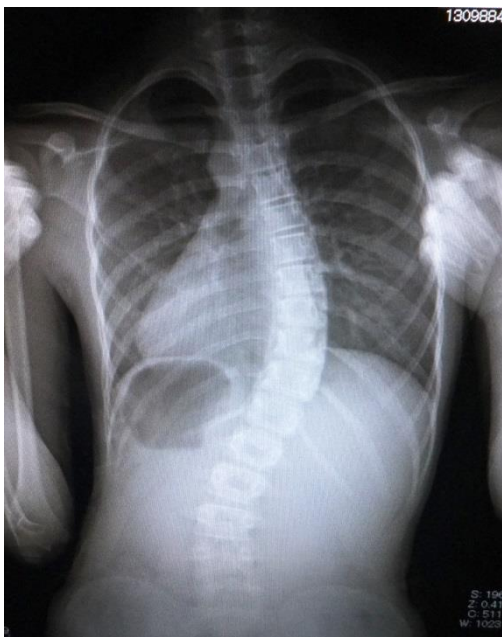
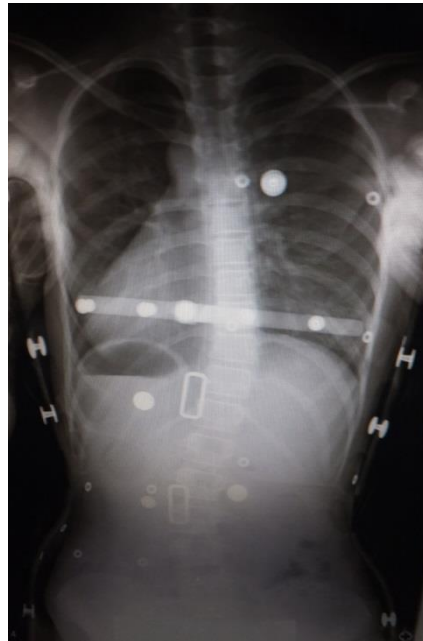


図 2



(注) 側弯症の程度を X 線で評価する場合は、背部から見た撮影法が一般的です。